

九谷一派へ 一問一答

- 1 作家名
- 2 出身地
- 3 生年
- 4 現在
- 5 将来の夢
- a 焼物をするきっかけ
- b 大切にしている事
- c 伝統とは？

1 上出長右衛門窯
2 能美市
3 1981年
4 九谷焼を紹介している
5 安心してものづくりをしたい

a 九谷焼をもっと知ってもらいたいと思うから。そしてそれが家業だったので。
b 過去とつながっていること
c ヘッドライトとテールライト

1 庄田春海
2 金沢市
3 1977年
4 寺井の共同工房にて
5 心地よく変化していくこと

a 友人に誘われ九谷焼研修所に受験して
b 気分と雰囲気
c 積み重なってきたもの

1 鈴木朋子
2 北海道
3 1984年
4 加賀市
5 素敵だねと言われるようなものを作りたい

a 焼き物をするきっかけは、九谷焼を本で知って、「これしかない!」と思って石川県に来たことです。
b 大切にしていることは、初志貫徹で、はじめに「こういう事を伝えたい」と思ったことを大切にしているものづくりをしています。
c 伝統とは多くの人が携わって伝えられてきたもので、そこからまた現在の人が携わることによって積み重ねられていくものだと思っています。

1 田村奈都子
2 小松
3 1980年
4 小松市で製作
5 細く長く続けて行きたい

a 今となってはよくわかりませんが
b 文字の可能性
c 先達の志

1 ちゅう右衛門翁
2 上出長右衛門窯
3 1879年
4 長右衛門窯に棲み、131歳の高齢でありながら自らクロ成形や尻尾での絵付けなど行っている。最近ツイッター始めました。
5 九谷焼の絵付けを教えてくれた谷先生に一目お会いしたいです。

a 九谷焼が如来のように現れ、小生の命を捧げようと思いました。
b 使える器を作ること。機能と美のパカンスと調和です。
c 九谷焼と先人達に対する尊敬と敬意です。不滅の美です。

1 三ツ井為吉
2 歌舞伎の町小松
3 1972年
4 父、三代為吉と共に
5 思いをカタチにできる人になりたい

a 大学卒業時に美術の才がない私に、友人たちが『家業を継げ!絶対大丈夫だ!』と言ってくれたから
b 目には見えないモノ(雰囲気、波動等)
c 守・破・離(しゅはり)を受け継がれてきたモノを守り、時代に合わなくなったモノを捨て去り、新しく独自の工夫を加え、そして今までの型を越えること。

1 ルーシー
2 トルコ文化村
3 1982年
4 暗れ時々転写中
5 大きくなりたい

a 初めて転写をしたとき料理をしたり塗り絵をするのと似ているような感覚が楽しくてワタシにピッタリって思ったから☆
b 妖精の心と魔法☆
c ムスカシクてよくわかんないデス